

マッチングアプリでの外国人との出会いに関する調査レポート

調査概要

項目	内容
調査名	マッチングアプリでの外国人との出会いに関する調査レポート
調査主体	THE SINGLE編集部
調査対象	マッチングアプリで外国人を探したことのある人
調査期間	2026年3月2日～3月9日
調査方法	インターネットリサーチ
調査人数	300名
性別	男性／女性
年齢	20代～50代
地域	全国

※本調査は当サイト独自調査です。

Q1 | 外国人との出会いを求める主な目的はなんですか？【単一選択／回答者数:300名】

選択肢	回答数	割合
恋人・交際相手を作りたい	87名	29.0%
結婚相手を探したい	45名	15.0%
外国人の友達を作りたい	63名	21.0%
語学の練習・言語交換がしたい	54名	18.0%
異文化交流・趣味仲間を作りたい	36名	12.0%
特に目的はなく気軽に使っている	15名	5.0%
合計	300名	100%

今回の調査では「恋人・交際相手を作りたい」が29.0%で最多となりました。

次いで「外国人の友達を作りたい」が21.0%、「語学の練習・言語交換がしたい」が18.0%と続きます。

恋愛・婚活目的を合算すると44.0%に達し、外国人向けマッチングアプリが恋愛・婚活ツールとして広く活用されていることがわかりました。一方、語学や文化交流を目的とした利用者も全体の30.0%を占めており、目的の多様性が見て取れます。

Q2 | 外国人と出会うために使用しているマッチングアプリを教えてください。【複数選択／回答者数:300名／延べ回答数:300名】

選択肢	回答数	割合
WIPPY(ウィッピー)	60名	20.0%
Pairs(ペアーズ)	54名	18.0%
with(ウィズ)	36名	12.0%
Omiai(オミアイ)	30名	10.0%
Tinder(ティンダー)	39名	13.0%
Bumble(バンブル)	27名	9.0%
tapple(タップル)	24名	8.0%
Langmate(ラングメイト)	30名	10.0%
その他	30名	10.0%
合計(延べ)	330名	110.0%

※複数回答のため合計は100%を超えます。

割合は回答者300名を母数として算出しています。

最も多く利用されていたのはWIPPY(ウィッピー)で60名・20.0%でした。次いでPairs(ペアーズ)が54名・18.0%、Tinder(ティンダー)が39名・13.0%と続きます。韓国人との出会

いに特化したWIPPYへの支持の高さが目立つ一方、累計会員数の多いPairsも安定した支持を集めています。

OmaiとLangmateはともに10.0%で並び、真剣な出会いから語学交流まで幅広い層に利用されている実態が浮かび上がりました。

Q3 | 出会った外国人の国籍を教えてください。【複数選択／回答者数:300名／延べ回答数:677名】

選択肢	回答数	割合
アメリカ・カナダなど(北米)	72名	24.0%
韓国	186名	62.0%
中国・台湾・香港など	135名	45.0%
タイ・ベトナム・フィリピンなど(東南アジア)	108名	36.0%
ドイツ・フランス・イタリアなど(ヨーロッパ)	57名	19.0%
インド・ネパールなど(南アジア)	51名	17.0%
中東・アフリカ・南米など	30名	10.0%
その他	38名	12.7%

合計(延べ)	677名	—
--------	------	---

※複数回答のため合計は100%を超えます。割合は回答者300名を母数として算出しています。

出会った外国人の国籍で最も多かったのは韓国で186名・62.0%と突出した結果となりました。

これはWIPPYやPairsを通じた韓国人との出会いが活発であることと一致しています。

次いで中国・台湾・香港などが135名・45.0%、東南アジアが108名・36.0%と、アジア圏全体での出会いが多い傾向が明らかになりました。TinderやBumbleがアメリカ発祥であることから、北米出身者との出会いも72名・24.0%と一定数見られました。

Q4 | 外国人向けマッチングアプリで、実際にリアルで会ったことはありますか？【単一選択／回答者数:300名】

選択肢	回答数	割合
はい、複数回会ったことがある	81名	27.0%
はい、1回だけ会ったことがある	60名	20.0%
やり取りはしたが、実際には会っていない	84名	28.0%
マッチングはできたが、やり取りに至らなかった	42名	14.0%
まだ会うには至っていない	33名	11.0%

合計	300名	100%
----	------	------

実際にリアルで会ったことがある回答者（「複数回」と「1回」の合計）は141名・47.0%と、約半数がオフラインでの出会いを実現していることがわかりました。

一方、「やり取りはしたが会っていない」が28.0%あり、言語の壁や距離感などからオフラインへの移行に踏み出せないユーザーも一定数存在しています。

翻訳機能やビデオ通話機能が充実したアプリを選ぶことが、実際の出会いへのハードルを下げる有効な手段といえるでしょう。

Q5 | マッチングアプリを通じて、具体的な成果はありましたか？【単一選択／回答者数：300名】

選択肢	回答数	割合
外国人と交際・恋愛関係になった	66名	22.0%
外国人と結婚・婚約した	21名	7.0%
外国人の友人・友達ができ	81名	27.0%
語学力が向上した・語学練習の相手ができ	63名	21.0%
成果はまだ出ていない	42名	14.0%

特に成果はなかった	27名	9.0%
合計	300名	100%

何らかの成果があったと回答した割合（交際・結婚・友人・語学向上の合計）は231名・77.0%と、約8割のユーザーがアプリを通じて具体的な成果を実感していることがわかりました。

中でも「外国人の友達ができた」が27.0%と最多で、次いで「交際・恋愛関係になった」が22.0%、「語学力が向上した」が21.0%と続きます。

「外国人と結婚・婚約した」という回答も7.0%あり、国際結婚という形で実を結ぶケースも少ないことが示されました。

Q6 | あなたの年齢層を教えてください。【単一選択／回答者数:300名】

選択肢	回答数	割合
18～24歳	72名	24.0%
25～29歳	90名	30.0%
30～34歳	69名	23.0%
35～39歳	42名	14.0%
40歳以上	27名	9.0%

合計	300名	100%
----	------	------

年齢層では25～29歳が90名・30.0%と最多となり、次いで18～24歳が72名・24.0%、30～34歳が69名・23.0%と続きました。20代が全体の54.0%を占めており、外国人との出会いを求めるユーザーは20代を中心とした若年層に集中していることがわかります。

一方、30～34歳も23.0%と一定の割合を占めており、30代前半においても外国人向けマッチングアプリの活用が広がっていることが見て取れます。